

# to you

2010  
6月 June

No.315 平成22年5月25日発行  
発行/財)広島市文化財団  
〒730-0812  
広島市中区加古町4-17 アステールプラザ内  
TEL082-244-0750 FAX082-245-0246  
Eメール bunka@cf.city.hiroshima.jp  
ホームページ http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/  
編集・印刷/大村印刷株式会社  
表紙イラスト/田中修一郎

## ひと・こえ

深い内容も  
アニメーションなら  
わかりやすく伝えられる。

2年に一度広島で開催され、今年で13回を迎える広島国際アニメーションフェスティバル。今年の公式ポスターをデザイン、制作された相原信洋さんに、ポスターに込めた思いやこのフェスティバルが世界のアニメーション作家にどんな影響を与えているのかを伺いました。

### ●躍動感あふれるポスターですね。

このポスターは世界のいろんな国に出て行くので、日本的なイメージを出したくて浮世絵にあるような波を描きました。広島は海に面しているし、日本は海に囲まれた国ですから海が身近なので。波が丸く回転して、世界のみならず繋がるイメージです。波しぶきの先端から勢よく人が飛び出してきて、賑やかな楽しいお祭りが始まるという雰囲気を出したかった。ここに世界からたくさんの人が集まり、そこからまた新たないい動きが始まって未来に繋がっていく…という思いを込めました。

### ■世界的に注目されている映画祭だそう ですが。

アニメーションは自分の生き方、考え方を伝えるのにとっても適していると思います。言葉ではなくイメージで伝えることで、年齢や言葉の壁を越えて楽しく観てもらえ、深い内容のことも理解してもらいやすいのです。そんなアニメーションに真剣に取り組んでいる人の作品が世界から集まる。このフェスティバルは日本で唯一の映画祭であり、世界を代表する大切な映画祭です。

### ■市民へのメッセージをお願いします。

多くの作家が国際平和都市の広島で上映されることをすごく喜んでいるんですよ。特定のジャンルに絞らず、あらゆるジャンルの作品が一度に見られるチャンスは他にありません。各国から集まった出来立ての映像を観ることにより、たくさんの人と思いを共有するのは素晴らしいこと。多くの広島の方に、アニメーションを観ることで世界の人と繋がるといった経験をしてもらいたいです。きっと豊かな気持ちになれたり、こんなことを考えている人がいるんだと勇気をもらえたりすると思います。



## 相原信洋 (あいはら・のぶひろ) さん アニメーション作家

京都造形芸術大学情報デザイン学科教授、国際アニメーションフィルム協会日本支部 (ASIFA-Japan) 理事。東京のデザイン学校を卒業後、1965年頃よりテレビアニメーションの世界に入る。アニメーション会社で動画・原画を担当するかわら、自主制作を開始。1975年頃より東京、京都でアニメーション個展を開催、1980年頃よりスウェーデン、デンマーク、フランス、ドイツ、チェコ等でアニメーション個展、東京、京都で絵画展開催。以降、日本、海外でアニメーション個展、絵画展を多数開催。1990年頃より個展開催のほか、アニメーションワークショップの指導でも活躍 (スウェーデン、インド、大阪、北海道)。第5回広島国際アニメーションフェスティバル国際選考委員。

## 映画祭 第13回広島国際アニメーションフェスティバル

時/8月7日(土)~11日(水)  
所/アステールプラザ  
¥/1プログラム券(前売)一般1,000円 大学生800円 小・中・高校生600円  
※1日券、全プログラム券、当日券あり。詳細はP16参照  
問/広島国際アニメーションフェスティバル事務局  
TEL. 082-245-0245  
広島市中区加古町4番17号 (財) 広島市文化財団内

今年は1985年の第1回大会から25年目の節目を迎える記念すべき年。アニメーションも世相、時代を映す鏡の役割を担う文化の一つ。各国から最新の作品が集まるこの大会で、ぜひ世界を感じて。



相原信洋さんデザインのポスター。テーマは「いのちの転生」